

決 算 報 告 書

令和6年度 決算報告書

国立大学法人広島大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	25,917	26,973	1,056	(注 1)
うち補正予算による追加	－	－	－	
施設整備費補助金	1,922	1,615	△ 307	(注 2)
船舶建造費補助金	－	－	－	
補助金等収入	6,910	9,655	2,745	(注 3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	28	28	－	
自己収入	46,755	47,059	304	
授業料, 入学料及び検定料収入	8,358	8,385	27	(注 4)
附属病院収入	37,788	37,752	△ 36	(注 5)
財産処分収入	－	－	－	
雑収入	609	922	313	(注 6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	8,479	10,732	2,253	(注 7)
引当金取崩	492	493	1	(注 8)
長期借入金収入	－	－	－	
貸付回収金	－	－	－	
目的積立金取崩	2,000	714	△ 1,286	(注 9)
計	92,503	97,269	4,766	
支出				
業務費	74,291	70,837	△ 3,454	(注10)
教育研究経費	35,698	35,412	△ 286	
診療経費	38,593	35,425	△ 3,168	
施設整備費	1,950	1,643	△ 307	(注11)
船舶建造費	－	－	－	
補助金等	6,548	7,606	1,058	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	8,479	10,707	2,228	(注13)
貸付金	－	－	－	
長期借入金償還金	1,235	1,236	1	(注14)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	－	－	－	
計	92,503	92,029	△ 474	
収入 － 支出	0	5,240	5,240	

○ 予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金については、前年度からの繰越及び教育・研究基盤維持経費などが追加交付されたこと等により、予算額に比して決算額が1,056百万円多額となっています。
- (注 2) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していた計画の変更及び一部事業の翌事業年度繰越により、予算額に比して決算額が307百万円少額となっています。
- (注 3) 補助金等収入については、地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)や、次世代研究者挑戦的研究プログラムの受入等により、新規採択等が予算段階の見込額を上回り、予算額に比して決算額が2,745百万円多額となっています。なお、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が376百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注 4) 授業料、入学料及び検定料収入については、予算段階の見込額を上回ったこと等により、予算額に比して決算額が27百万円多額となっています。
- (注 5) 附属病院収入については、患者数の減等により、予算額に比して決算額が36百万円少額となっています。
- (注 6) 雑収入については、主として、財産貸付料収入の増等により、予算額に比して決算額が313百万円多額となっています。
- (注 7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、積極的な獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が2,253百万円多額となっています。
- (注 8) 引当金取崩については、予算段階の見込額より取り崩しが多かったため、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注 9) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた計画の変更により、予算額に比して決算額が1,286百万円少額となっています。
- (注10) 業務費については、計画的な執行に伴う教育研究経費の減少、患者数の減に伴う医薬品費の減等により、予算額に比して決算額が3,454百万円少額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注 2)に示した理由により、予算額に比して決算額が307百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注 3)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,058百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注 7)に示した理由により、予算額に比して決算額が2,228百万円多額となっています。
- (注14) 長期借入金償還金については、借入利率の確定により、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。